

増補  
改訂

# 西村茂樹全集 全12巻

古川哲史 監修 / (公社) 日本弘道会 編

A5判・上製本函入 / 各巻平均750頁 / 揃定価 222,600円 (5%税込)

## 刊行のことば

西村茂樹は、欧化主義が蔓延する中、日本古来の精華を忘れ法律をもって道徳に代えようとするがごとき風潮を憂い、明治9年同志とともに、日本弘道会の前身である東京脩身学社を創設、爾来、国民道義の振興と品格ある国づくりを理想として掲げ、一貫して日本道徳の確立を訴え続けた。

西村の思想は、『日本道徳論』に述べるように儒教と哲学の精粋を採って日本の国民道徳の基礎としつつも、極めて柔軟な考え方を示し、とくに、真理を世界に求めて一局に偏することを戒め、究極のねらいとしたのは日本的道徳の確立と道徳を学問として体系化することにあった。また、蘭学・英学にも通じ、幕末から明治期にかけて数十冊を越す訳述書を公刊、近代化を急ぐ我が国にとっても暗夜の灯火となった。

本全集では、西村茂樹の学問的な業績を中心に構成し、これまで未発表の論説や『日本道徳論』の初版本など思想史的にも貴重な著書が初めて公刊されることとなった。教育学、哲学、倫理学、社会学など、西村思想の真髄に迫ることが可能となり、広く江湖に歓迎されることを期待する。

## 本全集の特色

\*昭和51年刊行の『西村茂樹全集』(全3巻)に未収録の著作・訳述書・論説・日記・書簡・漢詩・和歌・年譜・その他も含めた全ての著作を全12巻で刊行、西村茂樹研究の決定版である。

\*旧版の3巻に収録されていた著作・論説の全てを解体し、分野別に組み込み内容を整えた。

\*収録する文献ごとの解題を各巻末に付し、付録として月報(執筆者2人)をつける。

\*訳述書に関しては代表的なもの及び道徳に関するものを精選して収めた。

\*旧漢字は原則として常用漢字に改め、仮名表記は原拠のままとした。

最終回配本 第12巻 漢詩 書簡 語彙索引 他 定価17,850円 【2013年5月刊行】

ISBN978-4-7842-1613-0

- |   |            |                       |
|---|------------|-----------------------|
| 【既刊】 第1巻 著作1                                  | 定価 17,850円 | ISBN4-7842-1189-6     |
| 西村泊翁先生傳 / 日本道徳論 / 國民訓 / 儒門精言 / 國家道徳論 他11篇     |            |                       |
| 第2巻 著作2                                       | 定価 17,850円 | ISBN4-7842-1212-4     |
| 徳學講義 / 西國道徳學講義 / 社會學講義 / 日本教育論 他2篇            |            |                       |
| 第3巻 著作3                                       | 定価 19,425円 | ISBN4-7842-1255-8     |
| 心學略傳 / 心學講義 / 初學實訓 / 女子實訓 / 婦女鑑 / 泊翁卮言        |            |                       |
| 第4巻 著作4                                       | 定価 17,850円 | ISBN4-7842-1317-1     |
| 自識録 / 續自識録 / 記憶録 / 建言稿 / 往事録 / 偶筆             |            |                       |
| 第5巻 著作5 訳述書1                                  | 定価 18,900円 | ISBN978-4-7842-1380-1 |
| 讀書次第 / 東奧紀行 / 隨見隨筆 / 校正萬國史略 / 萬國通史            |            |                       |
| 第6巻 訳述書2                                      | 定価 18,900円 | ISBN978-4-7842-1443-3 |
| 萬國史略 / 防海要論 / 農工卅種家中經濟 / 經濟要旨 / 數限通論 他2篇      |            |                       |
| 第7巻 訳述書3                                      | 定価 19,950円 | ISBN978-4-7842-1461-7 |
| 泰西史鑑  |            |                       |
| 第8巻 訳述書4                                      | 定価 18,900円 | ISBN978-4-7842-1629-1 |
| 格勒革力道徳學 / 哈芬氏道徳學 / 殷斯婁氏道徳學 / 求諸己齋講義 / 檀寧氏道徳學  |            |                       |
| 第9巻 訳述書5 日記                                   | 定価 18,900円 | ISBN978-4-7842-1533-1 |
| 理學問答 / 休物爾氏徳學 / 查爾斯蒲勒氏要須理學 / 泊翁日記 他3篇         |            |                       |
| 第10巻 論説1                                      | 定価 17,325円 | ISBN978-4-7842-1504-1 |
| 明治7年(1874)~明治27年(1894)                        |            |                       |
| 第11巻 論説2 訳述書6 他                               | 定価 18,900円 | ISBN978-4-7842-1556-0 |
| 明治28年(1895)以降の論説 / 教育史 / 求諸己齋蔵書目錄 / 皇太子御教育建言書 |            |                       |

待望の  
完結

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

## 近代日本の倫理思想 主従道徳と国家

高橋文博著

西村茂樹・福澤諭吉・和辻哲郎ら近代日本の思想家や修身教科書を取り上げ、近代日本における倫理思想の特質を考察。前近代よりもち越され、主張され続けた主従道徳の存在に着目し、倫理思想における日本の近代と近代以降のもつ意味を考える一書。

▶A5判・332頁／定価 5,775円

ISBN978-4-7842-1656-7

## 象徴天皇制の形成と定着

富永望著

「象徴天皇(制)」という言葉に着目して、この用語の使用法を検証し、さらに吉田茂の憲法運用と、それに異を唱える政治勢力や憲法学者の天皇観を明らかにすることで、象徴天皇制は新憲法の運用の積み重ねによって形成されたことを実証する、気鋭の書。

▶A5判・316頁／定価 5,040円

ISBN978-4-7842-1492-1

## 知の伝達メディアの歴史研究

辻本雅史編

教育史像の再構築

「教育」を「知の伝達」と捉え直し、その伝達のための媒体を「メディア」と規定することで、これまでのような、学校を中心とした教育史像ではなく、学校を含みながらも学校を越えたところでなされる人間形成の営みを、全体として捉え直す視点を提示する。

▶A5判・300頁／定価 5,985円

ISBN978-4-7842-1500-3

## 文人世界の光芒と古都奈良

久留島浩・高木博志・高橋一樹編 大和の生き字引・水木要太郎

近代奈良において個人により形成され、多様な史資料の「かたまり」である水木コレクションを主な分析の素材とし、日本史学・考古学・建築史学・国文学・美術史学・地理学・社会言語学等にわたる学際的な一書。

▶A5判・508頁／定価 8,190円

ISBN978-4-7842-1481-5

## 三高の見果てぬ夢

厳平著

中等・高等教育成立過程と折田彦市

京都大学大学文書館所蔵「第三高等学校関係資料」等を駆使し、当時の「中学校」の教育機能を考察。その前身校以来、長く三高校長職にあった折田彦市に注目することで、高等中学校がいかなる理由で設けられたのかという、日本近代教育史研究の大きな欠落を埋める一書。

▶A5判・352頁／定価 7,875円

ISBN978-4-7842-1399-3

## \*フェノロサ社会論集

山口静一編

フェノロサは来日当初の目的は東京大学でミル、スペンサー、ヘーゲルなどの社会思想を講じることだった。当時の活字媒体を通じて発表された講義資料、宗教論を含む社会論のすべてを収め、明治日本に多様な影響を与えたフェノロサの実像に迫る

▶A5判・330頁／定価 8,190円

ISBN4-7842-1028-8

## \*万国博覧会の研究

吉田光邦編

19世紀、体制を整備しつつあった国家・近代的な企業・国民という意識に支えられた大衆社会を基盤にスタートした新しい情報メディアの場、博覧会の諸相を明かす学際研究。【内容】クルップ社の19世紀／菊と万国博／パリ博覧会日本館・1937／博覧会と特許／明治初期の京都博覧会／博覧会と衛生／1910年南洋勸業会始末 など

▶A5判・374頁／定価 6,825円

ISBN4-7842-0414-8

## 宣教と受容 明治期キリスト教の基礎的研究

中村博武著

経典成立史、新造語の成立経緯などの原理的な問題から浦上信徳総流罪に対する長崎外国人居留地の英字新聞や宣教師の書簡の解明、さらには上海租界地の宣教、内村鑑三と英字新聞の論争などを通して西洋文明が東アジアに与えた衝撃の一端を明かす。

▶A5判・610頁／定価 12,600円

ISBN4-7842-1025-3

## 西村茂樹研究 明治啓蒙思想と国民道徳論

真辺将之著

明治の啓蒙思想家・道徳運動家である西村茂樹の思想について、従来の「保守」と「進歩」という二項対立的な枠組みから脱却し、時代状況に応じた問題意識の変遷と主張の展開を、史料に基づいて跡づけることにより明らかにする。

▶A5判・488頁／定価 8,190円

ISBN978-4-7842-1491-4

## 明治期における不敬事件の研究

小股憲明著

天皇を中心とする明治政府の誕生以来、数多く発生しながら体系的な研究がなされなかった不敬事件を、明治期について網羅。豊富な実例を整理・検討することにより明治国家の特質を考察し、天皇制と教育・近代日本および国民の関係を明らかにしようとする大著。

▶B5判・576頁／定価 13,650円

ISBN978-4-7842-1501-0

## 韓国「併合」前後の教育政策と日本

本間千景著

佛教学研究叢書 8

第二次日韓協約から第一次朝鮮教育令発布後、すなわち韓国「併合」前後の期間に着目し、当該期の修身教科書への影響や教員の養成・日本人教員の配置など、現地における学校教育を取り扱う。教育という観点から、日本内地と旧韓国・朝鮮の関連を再考する。

▶A5判・300頁／定価 5,880円

ISBN978-4-7842-1510-2

## 武士の精神とその歩み

アレキサンダー・ベネット著

武士道の社会思想史的考察

武家政権の誕生から明治維新に伴う身分制度の廃止に至るまでの武士文化の発展と変遷の過程を考察。文化人類学者クリフォード・ギアツによる宗教の定義を援用し、各時代における武士の精神を精査することで、武士の気風や動機などが進展していった過程を明らかにする。

▶A5判・296頁／定価 5,040円

ISBN978-4-7842-1426-6

## \*増補 郷土教育運動の研究

伊藤純郎著

長らく品切れだった旧版に1章を加えて再版。昭和恐慌が深刻化し、郷土の立て直しをはかる自力更生が叫ばれていた1930年代に展開された郷土教育運動の歴史的意義を柳田国男の郷土研究論と関連させながら、運動を推進した文部省、文部省とは異論を唱える郷土教育連盟、実際にそれをおこなう地域社会の反応を通じて、実証的に解明する。

▶A5判・506頁／定価 10,290円

ISBN978-4-7842-1402-0

## \*鉄道日本文化史考

宇田正著

日本の近代化のなかで陸蒸気＝鉄道がもたらしたものは、はかり知れない。本書では「文化の鏡」としての鉄道をとりあげ、知識人の体験や一般人の認識から民俗・観光(巡礼)・教育との関わりを通して、鉄道が日本人の内面的形成に果たした文化的役割を明らかにする。

▶A5判・352頁／定価 5,775円

ISBN978-4-7842-1336-8

## 岡倉天心の比較文化史的研究

清水恵美子著

ボストンでの活動と芸術思想

明治時代に美術分野で活躍した思想家、岡倉覚三(天心)の生涯の活動に通底する思想や、ボストン社会で成そうとしていたことは、いかなるものだったのか。またボストンと日本における岡倉像を比較し、固定化され流布されている「岡倉天心」像を再検証。

▶A5判・548頁／定価 11,235円

《平成24年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞》  
ISBN978-4-7842-1605-5

## 近代茶道の歴史社会学

田中秀隆著

「伝統文化とは近代に自己変革に成功した文化である」との近代茶道史テーゼにもとづき、近代国家の文化的アイデンティティの生成構造面から、茶道が日本の「伝統文化」として認知されるようになった過程を考察する。

▶A5判・454頁／定価 6,825円

ISBN978-4-7842-1377-1

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。